

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けが
あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	999901		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。													
事務事業名	支所・分室事務（共同会館）					担当部局・課	市民部 共同会館					評価結果 A 上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。				
事業内容	戸籍及び住民基本台帳に関する届出書の受付、諸証明の発行等、税務諸証明の発行、市税の収納、国民健康保険に係る届出書の受付、交通共済災害共済の加入受付、町名変更に係る証明書の発行、母子手帳の発行等に関する事務					事業開始(予定)年度										
						—										
						事業終了(予定)年度										
					—											
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	—													
		項目	—													
		施策	—													
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。															
事業の目的	窓口業務を通じて、市民の福祉の向上と社会福祉の増進を図っていく。					予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）					(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (事項) 会館管理費 (目) 共同会館費					
事業費等の概算	平成17年度(決算)					平成18年度(予算)										
	事業費	—	財源内訳			事業費	—	財源内訳								
			国・県補助金等		—											
			市 債		—											
			その他(使用料等)		—											
			一般財源(市税等)		—											
	投入人員	1.00人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)			投入人員	1.00人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)								
	人件費	8,566千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。			人件費	8,566千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。								
経費合計	8,566千円				経費合計	8,566千円										
活動指標	指標名(単位)	開所日数（日）				計画と実績	区分	年度	H17年度	H18年度						
	意味・算式等	—						計画値	244	244						
								実績値	244							